

鳥取砂丘ビジターセンター

山陰海岸ジオパークの地域景観的な特徴や魅力について

地質学的な多様性を誇る山陰海岸国立公園。東は京都府京丹後市の八丁浜まで 75 キロにわたるこの国立公園の西端に位置するのが、日本海の海岸線に幅約 2.4 キロ、長さ 16 キロにおよぶ鳥取砂丘です。山陰海岸国立公園は、日本列島のアジア大陸からの分離と、約 2000 万年前の日本海形成にかかわる活発な地形変化が見えることが評価され、2015 年にはユネスコ世界ジオパークに認定されています。この変化の歴史が深い谷や滝、平地、河川流域を生み、その結果、人が暮らせるようになったのです。火成岩の形成や独特な地層、鳥取砂丘などの他では見られない海岸の地形が、山陰海岸国立公園の際立った特徴です。